



内容解説資料

この資料は、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

※教科書の題字は、平形精逸先生の筆によるものです。
手書きの文字の温かさや美しさを味わってほしいと考えております。

絵・小山友子



表紙では、毛筆で描かれた川を魚たちが悠々と泳ぎ、星の輝く空を鳥たちが伸び伸びと飛んでいます。文字を書くことは、昔から連続と続いてきた豊かな営みです。筆や鉛筆とともに、自然の景物を描き出すことで、文字を書くことの豊かさや、子供たちの伸びやかな未来を表現しています。

表紙のご紹介

新編 新しい書写

一・二・三年



東京書籍

○著作関係者

代表

押木秀樹

上越教育大学教授

青山浩之

横浜国立大学教授

顧問

平形精逸

静岡大学名誉教授

編集

浅井哲司

香川大学講師

菅野智明

筑波大学教授

見城正訓

静岡大学非常勤講師

河野 悟

兵庫県神戸市立湊川中学校主幹教諭

齋木久美

茨城大学教授

西村敦子

兵庫県たつの市立龍野西中学校教諭

和田圭壮

福岡教育大学教授

特別支援教育に関する校閲

道面美紀

東京都墨田区立本所中学校指導教諭

ICTの活用に関する校閲

稲垣 忠

東北学院大学教授

緒方広明

京都大学教授

小柳和喜雄

関西大学教授

泰山 裕

鳴門教育大学大学院准教授

寺澤孝文

岡山大学教授

東京書籍株式会社

ほか一名

色彩デザインに関する編集協力
色覚問題研究グループ ばすてる

表紙・巻頭イラスト 丹地陽子 デザイン 小林綾

教科書特設サイトを開設しました！

新しい教科書の魅力が分かる60秒動画、おすすめのQRコンテンツ、いただいた質問にお答えするQ&Aなど、各種資料をご覧いただけます。

東京書籍 中学校 書写



本社 〒114-8524 東京都北区堀船2丁目17番1号 (書写編集) TEL: 03-5390-7358 FAX: 03-5390-7350
支社・出張所 札幌: 011-562-5721 仙台: 022-297-2666 東京: 03-5390-7467 金沢: 076-222-7581 名古屋: 052-950-2260
大阪: 06-6397-1350 広島: 082-568-2577 福岡: 092-771-1536 鹿児島: 099-213-1770 那覇: 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

あの子のノートきれいだっただな。

整然と並んだ文字が

まっすぐ伸びた背筋のようだった。

スマホだって、パソコンだってあるし、

今どき手書きなんて……

そう思うこともあるけれど。

授業のノート、

友達への手紙、

テストの答案だって、

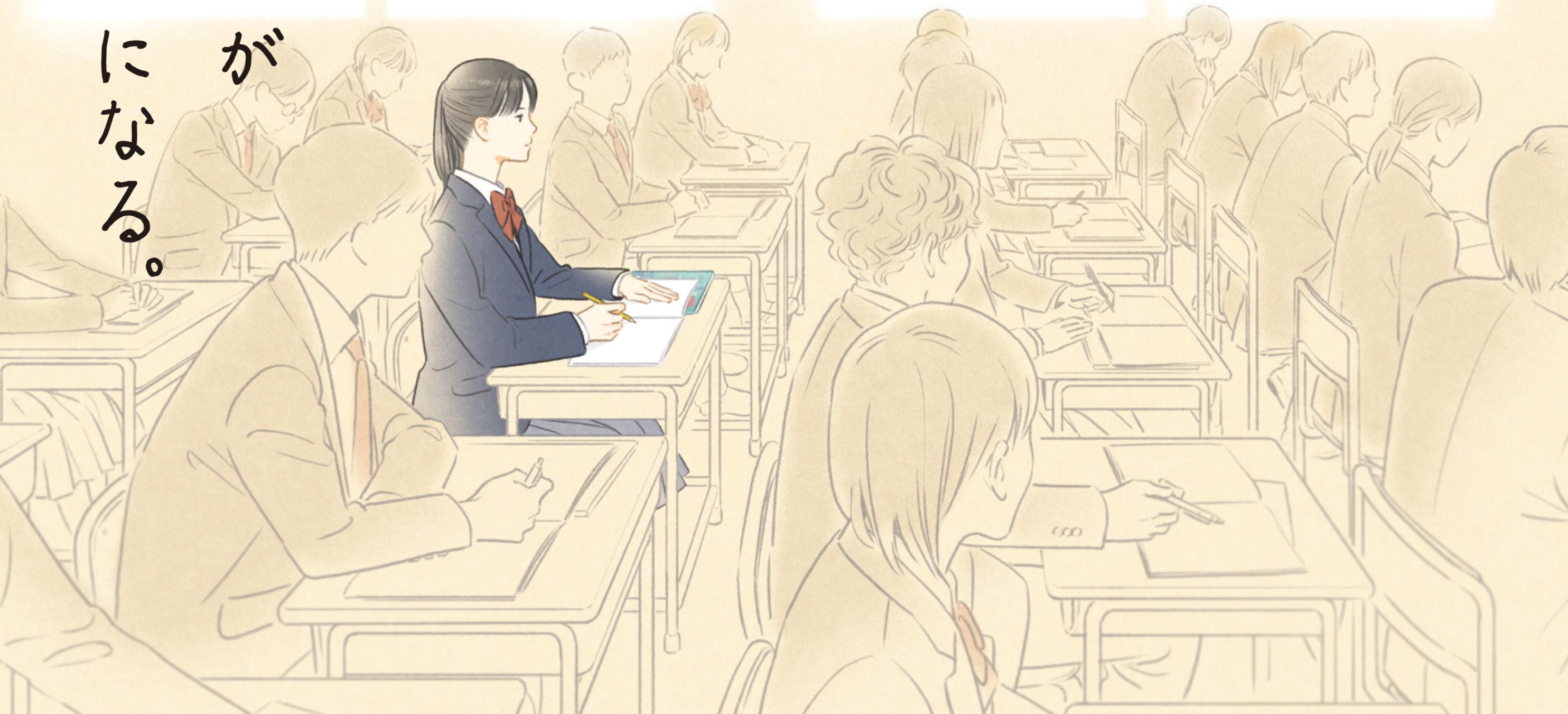
本当は

整った文字で書けるようになりたい。

自信を持って、

自分の考えや気持ちを伝えるために。

「書く力」が
「私の力」になる。



なかなか上手に書けない。
整った文字を書くには、
どうしたらいいんだろう。



1

「書写のかぎ」
だいたいなポイントをまとめた

↓ 8ページ



単元の学習でいちばんだいたいなことを、ひと目で分かるように示しました。文字を整えて書くための知識とコツを言葉で整理しています。

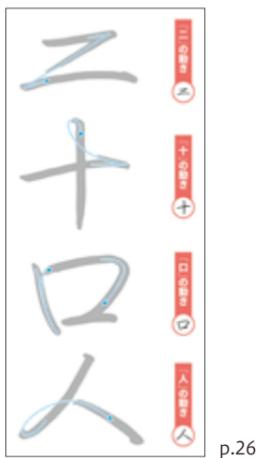
好きな言葉を行書で
書いてみたいけど、
どうすればいいの？



2

「動き」を知ると行書が書ける
行書の
四つの動き

↓ 10ページ



行書の「形」だけでなく、「動き」に着目しました。行書に特徴的な「動き」のパターンの中から、特に使用頻度の高い四つの動きを取り上げています。

筆をどのように動かすのか、
いまいちよく分からないよ。



3

実際の筆の「動き」が分かる
運筆動画

↓ 12ページ



全ての教材文字に、運筆動画を用意しました。ナレーション・テロップによる解説があり、一斉授業だけでなく、生徒自身で視聴するときにも役立ちます。

目次

中学生の目線で考える	4	QRコンテンツ一覧	23
「新編 新しい書写」の3つのポイント	6	「書写のかぎ」一覧	25
■ 繰り返し確かめ、学びの定着を図る	14	検討の観点と内容の特色	27
■ 書写の学びを生活に生かす	16	授業に役立つ充実のサポート	30
■ 文字文化に親しみ、受け継ぐ	18		
■ 誰にとっても学びやすい教科書を	20		

楽しんで学ぼう！



学習の案内をする
キャラクター コウゾ



東京書籍
教科書特設サイト

だいたいじなポイントをもとめた

「書写のかぎ」



本書 25 ページ 「書写のかぎ」一覧

「どんなところに気をつけて書けばいいの?」

書写の学習は、お手本に似た文字が書けるように、ただ練習を繰り返すことではありません。

この単元で何を学習するのか、どんなところに気をつけて書くのか、学習のポイントを明確にしました。

「書写のかぎ」

学習のポイントを焦点化することで、短い授業時間でも効果的・効率的に学習を進めることができます。

学習の進め方

課題を解決するための「書写のかぎ」を見つけ、それを軸に学習を進めていきます。

1 読みやすく、速く書く「行書」

行書の筆順は、どのように変化しているだろうか。

楷書との違いを比べ、書いて考えよう。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

2 読みやすく、速く滑らかな動きで書くために、筆順が変化することがある。

行書では、速く滑らかな動きで書くために、筆順が変化することがある。

楷書との違いを比べ、書いて考えよう。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

ポイント 書写のかぎ **筆順の変化**

行書では、速く滑らかな動きで書くために、筆順が変化することがある。

楷書との違いを比べ、書いて考えよう。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

点画の変化や省略が現れることもある。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

p.48-49

半紙と縦横同比率
(128%拡大で、原寸大になります。)

1 硬筆で課題を発見

課題を解決するための「書写のかぎ」を見つけ、それを軸に学習を進めていきます。

2 毛筆で確かめる

3 ほかの文字に生かす

「書写のかぎ」を生かして書こう。

学習の進め方

課題を解決するための「書写のかぎ」を見つけ、それを軸に学習を進めていきます。

ポイント 書写のかぎ **筆順の変化**

行書の筆順は、どのように変化しているだろうか。

楷書との違いを比べ、書いて考えよう。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

点画の変化や省略が現れることもある。

くさかんむり

いへん

結 草 結 草

「動き」を知ると行書が書ける 行書の四つの動き

「行書ってかっこいいけど、難しそう。」

行書の文字の「形」だけでなく、書くときの「動き」に着目しました。四つの動きを意識することで、ほかの文字にも活用できる行書の書き方が分かります。

常用漢字二二三六字の約九割に四つの動きのいずれかが含まれています。そのため、教科書で練習した文字だけでなく、ほかの文字にも学習を生かすことができます。

これまで学習してきた

楷書

東

中学校で新しく学習する

行書

東

行書は、読みやすく速く書ける。そして長い文章を書いても疲れにくい。行書で中学生のお悩みを解決します。



行書の四つの動き

(p.24-26より)

行書に特徴的な「動き」のパターンの中から、特に使用頻度の高い四つの動きを示しました。この「二」「十」「口」「人」の動きを組み合わせることで、簡単に行書が書けるようになります。



「二」の動き



「横画」から
「横画」へ続く

「十」の動き



「横画」から
「縦画」へ続く

「口」の動き

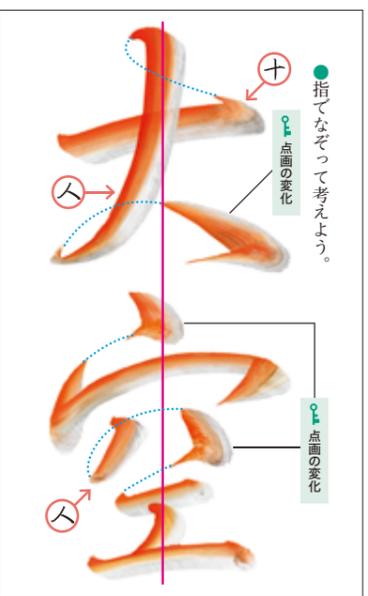
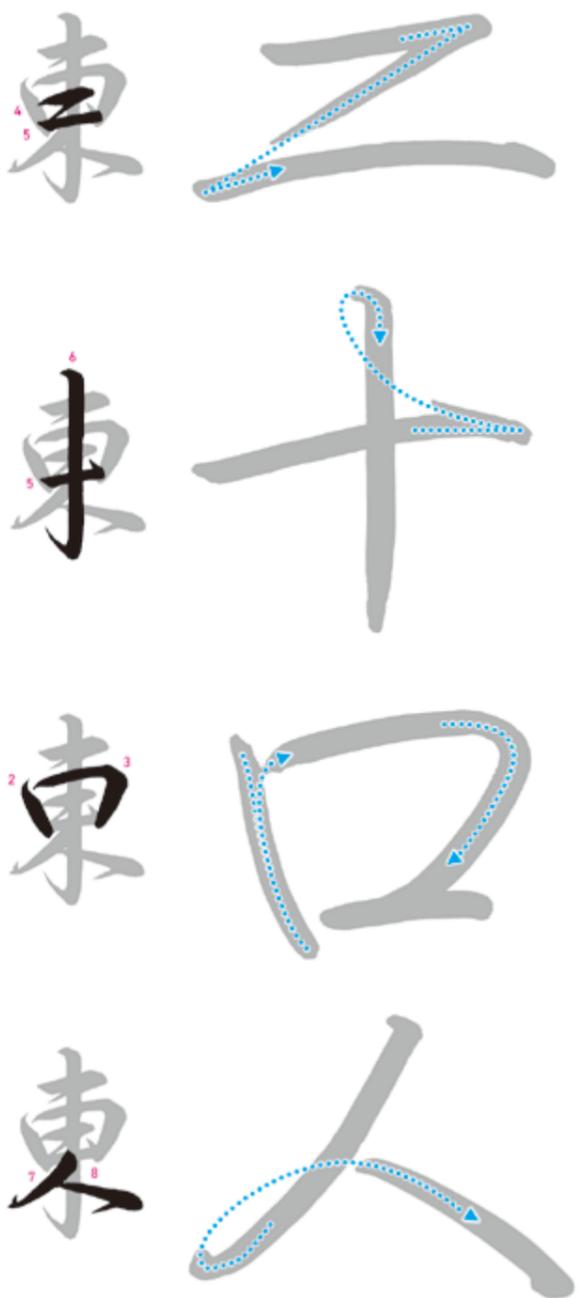


「縦画」から
丸みをもって囲む

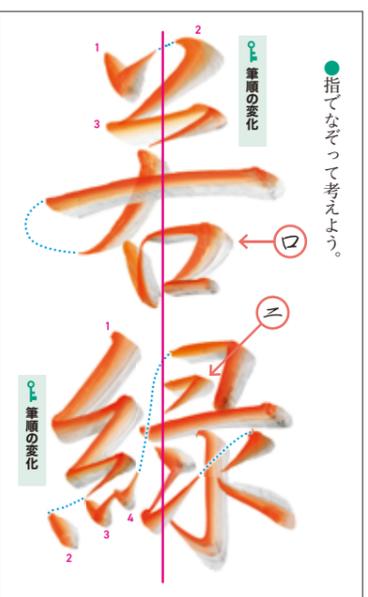
「人」の動き



「左払い」から
回転するように続く



p.30



p.48

その後の单元でも、四つの動きを示すアイコンを付し、繰り返し意識づけられるようにしています。

※教科書に掲載した毛筆文字には、運筆動画を用意しています。実際の動きを確かめながら学習することができます。詳しくは次ページ。

実際の筆の「動き」が分かる 運筆動画

「でも、実際にどのようなように筆を動かしたらいいんだらう。」
教科書に掲載している全ての毛筆教材文字に、書くときの様子が
分かる運筆動画を用意しています。

教材文字の運筆動画

教科書の紙面にある二次元コードを読み込むと、
簡単に動画が再生できます。



p.49



実際に
お確かめください。



教師用は、さらに充実！

墨・手元の様子



墨・真上から見た様子



淡墨・手元の様子



淡墨・真上から見た様子



指導者用

指導書コンテンツライブラリーや指導者用デジタルブックには、穂先の動きが分かりやすい淡墨の動画や、手元の様子が分かる動画も用意しています。

ここがおすすめ！

- 生徒の視点に合わせて、真上から撮影しています。
- 再生する速度の調節もできます。
- ナレーション・テロップによる解説があるので、次のような使い方ができます。
 - 教師の実演の代わりに、教室前方で演示する。
 - 教師が机間指導を行う間、音声を消して電子黒板で繰り返し再生する。直接指導を受けていない生徒も筆の動きを確認しながら、練習できる。
 - 家庭で、生徒自身が視聴する。夏休みの課題や書き初めに取り組み際も、自分で確認することができます。



文字文化に親しみ、受け継ぐ

「身の回りには、どんな文字があるんだろう。」

私たちの生活の中にはたくさんの種類の文字があります。

伝統的な文字文化、日常の中にある文字文化に興味を持ち、受け継いでほしい。

そんな願いをこめました。



文字といっしょに

「文字といっしょに」では、文字文化への興味を喚起するコラムや活動を掲載しました。身の回りにある文字について、新たな視点で考えることができます。

文字といっしょに 手書き文字と活字

●手書き文字と活字の違い

私たちは、たくさんの手書き文字や活字に囲まれて生活しています。活字は、読みやすさやデザインを重視して作られるため、手で書く文字とは、形が異なります。

●活字の書体

活字の書体（フォント）は多種多様にあります。なかでもよく使われるのは、「明朝体」と「ゴシック体」です。

●明朝体の始まり

中国の唐の時代、字が上手なことで知られた顔真卿という人がいました。明朝体は、顔真卿の文字の特徴を残しています。

●UD (ユニバーサルデザイン) 書体

あらゆる人が見やすく読みやすいことを重視した書体。スマートフォン、リモコン、交通標識、新聞など、身近なものに使われている。

●手書き文字と活字の対比

「北海道」の活字と手書き文字の対比。手書き文字は「北海道」と「北道北」のように、似た文字を区別しやすくするために、形を変えている。

p.16-17

美しい手書き文字に触れる

整った文字を書くためには、整った文字を多く見ることが大切です。学習内容や生徒の発達段階に合わせた、健康的で明るい書風の教材文字を掲載しています。また、**毛筆文字と硬筆文字の整合性**を図り、生徒が学びやすい文字を掲載しています。

豊かな自然

2

51

p.51

国語科との関連

国語科で学習する文学作品や古典の一節を書いて味わったり、題材例に「書くこと」の学習内容や言語活動を取り上げたりするなど、**関連づけて指導**できる工夫をしています。

本のポツを書こう

1 書く目的や対象を明確にする

2 書く内容や形式を決める

3 書く場所や時間を決める

本のポツを書くこと

「おぼあちゃん、大好き」
「アイノク」
「西の魔女が死んだ」

p.60

二次元コードがある単元は、QRコンテンツに関連する教科書紙面を確認することができます。

本のポツ

1 書く目的や対象を明確にする

2 書く内容や形式を決める

3 書く場所や時間を決める

本のポツを書くこと

「おぼあちゃん、大好き」
「アイノク」
「西の魔女が死んだ」

さくら

- 「書いて味わおう」……国語教科書で掲載されている作品の一節をなぞり書きます。
- 「書き初めをしよう」……日本で伝統的に行われてきた、書き初めに取り組みます。

誰にとっても学びやすい教科書を

全ての生徒にとって学びやすい教科書を目指して、さまざまな工夫をしています。



左利きの生徒への配慮

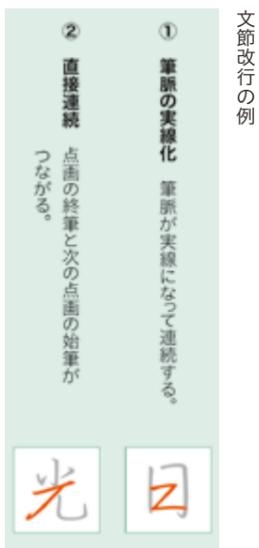
教材文字を上にも、書き込み欄を下にも配置しました。右利きでも左利きでも、しっかりと教材文字を見ながら書くことができます。

特別支援教育への配慮

紙面に使う色や要素の数を抑え、学習に集中できるようにしました。また、原則として**文節で改行**することで、文章を読むことに困難を抱える生徒へ配慮しています。



p.28-29



な気持ちで書く。を紙からめ。

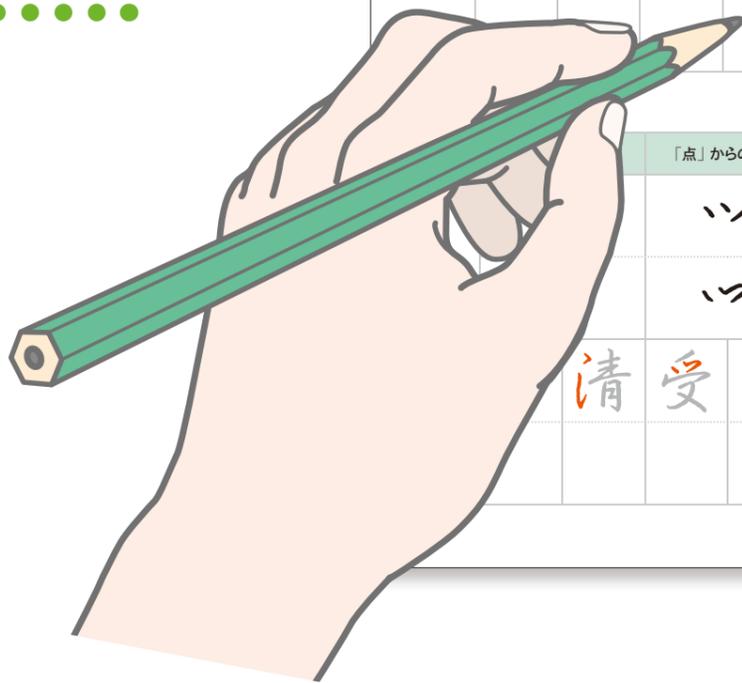
次の点画へ書き進めるときの筆脈が実線になる。

「縦画」からの連続	「横画」からの連続	楷書
川	二	行書
川	二	行書で書く
順列	羊三	

「点」からの連続 「縦画」からの連続

王	楷書			
王	行書			
王	行書で書く			
清	受	学	理	玉

p.32



デジタルで
もっと充実！



QRコンテンツ
「用具の置き方」の動画では、左手で筆を持つ場合の用具の置き方も取り上げています。



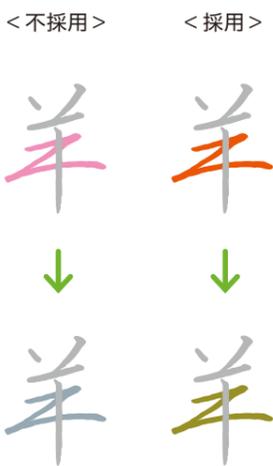
指導書コンテンツライブラリー
指導者用デジタルブック
教師用に、動画「左利きの子供への指導のポイント」を用意しています。



色覚の多様性への配慮

カラーユニバーサルデザインの観点から、色の区別による説明は必要最小限に抑えました。そのうえで色を用いる場合は、全ての生徒に見分けやすい配色になるよう工夫しました。

色覚特性のある
生徒の見え方の例



読みやすいUD書体

漢字の読み仮名やキャラクターの吹き出しなどの小さな文字には、読み誤りにくいUD（ユニバーサルデザイン）書体を使用しています。その中でも、手書き文字に近い字形を持った、教育的配慮のなされたフォントを選んでいきます。

教科書で使用しているUD書体

な道

一般的なUD書体

な道

QRコンテンツ一覧

書写の学びを豊かにする、66のコンテンツ!!

教科書紙面にある二次元コードから、さまざまなQRコンテンツにアクセスできます。

1年	これまで学んできたこと	
	6ページ	小学校で学んだ「書写のかぎ」
	姿勢と筆記具の持ち方	
	8ページ	用具の置き方
		筆の準備
		墨(すみ)のすり方
		文字を書く姿勢(毛筆)
		文字を書く姿勢(鉛筆(えんぴつ))
		筆の持ち方(二本がけ)
		筆の持ち方(一本がけ)
小筆の持ち方		
鉛筆(えんぴつ)の持ち方		
筆のかたづけ方		
基本の点画の書き方		
10ページ	「横画」	
	「縦画」	
	「点」	
	「左払い」	
	「右払い」	
	「折れ」	
	「曲がり」	
	「反り(代)」	
	「反り(手)」	
	「曲がり(平仮名)」	
	「大回り(平仮名)」	
	「折れ(平仮名)」	
	「結び(す)(平仮名)」	
	「結び(な)(平仮名)」	
点画の書き方と字形の整え方		
15ページ	<大志>	

文字の大きさと配列	
21ページ	<夏山の/緑うつりし/小窓かな>
手紙を書こう——お礼状	
22ページ	国語：依頼状やお礼状の書き方
読みやすく速く書くための動き	
24ページ	楷書と行書の動きを比べよう
26ページ	動きのパターン「二」の動き
	動きのパターン「十」の動き
	動きのパターン「口」の動き
	動きのパターン「人」の動き
点画の連続	
29ページ	<日光>
点画の変化	
31ページ	<大空>
書き初めをしよう	
38ページ	<早春>
89ページ	<夢の実現>
	<温故知新>
	<美しい緑>
職場訪問をしよう	
40ページ	国語：依頼状やお礼状の書き方
	国語：話の聞き方・質問の仕方
書写テストに挑戦!	
44ページ	書写テスト 1年生

2年	点画の省略	
	47ページ	<桜色>
筆順の変化		
49ページ	<若緑>	
行書と仮名の調和		
51ページ	<豊かな自然>	
文字の大きさと配列		
55ページ	<草山に/馬放ちけり/秋の空>	
伝統的な用具・用材		
58ページ	筆の作り方	
	墨の作り方	
	硯の作り方	
	和紙の作り方	
本のポップを書こう		
60ページ	国語：本のポップの作り方	
書き初めをしよう		
64ページ	<平和の祈り>	
96ページ	<感謝する心>	
	<信念を貫く>	
	<最善を尽くす>	
書写テストに挑戦!		
70ページ	書写テスト 2年生	

3年	書き初めをしよう	
	82ページ	<梅の花咲く里>
	97ページ	<希望に輝く春>
		<生命を尊ぶ>
	<不屈の精神>	
思いを文字で表そう		
86ページ	<栄光のかけ橋>	
書写テストに挑戦!		
88ページ	書写テスト 3年生	

1~3年	書写活用ブック	
	1ページ	さまざまな書式・文例集
	8ページ	国語：ポスター・フリップの書き方
	10ページ	国語：新聞の書き方
	40ページ	国語：レポートの書き方

- ▶ ……動画
- 🔗 ……他教科リンク
- 📖 ……資料
- ✍️ ……練習

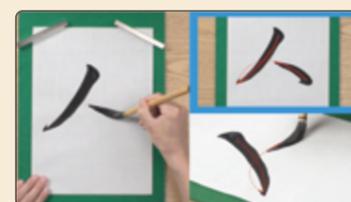


特におすすめのコンテンツです。二次元コードを読み取り、ぜひ実際にご覧ください。



押しQRコンテンツのご紹介

読みやすく速く書くための動き
動きのパターン
「人」の動き



伝統的な用具・用材
筆の作り方



書写テストに挑戦!
書写テスト 1年生



「書写のかぎ」一覧



東京書籍の小学校用書写教科書「新編 新しい書写」では、中学校と同様に、小学校で身につける知識・技能を「書写のかぎ」として示しています。この表では、小・中学校で学習する「書写のかぎ」を系統的に整理しました。

	点画の書き方・字形	書くときの動き	仮名の書き方	配列	効果的な書き方・文字文化 ほか
小学校	<p>基本の点画：「横画」「縦画」「左払い」「右払い」「点」「折れ」「曲がり」「反り」</p> <p>字形：外形 点画の長さ 点画の間隔 点画の方向 点画の接し方・交わり方 組み立て方（左右・上下・たれ・によろ・かまえ） 文字の中心</p>	<p>筆順</p> <p>点画のつながり</p> <p>書く速さ</p>	<p>「折れ（平仮名）」</p> <p>「曲がり（平仮名）」</p> <p>「結び（平仮名）」</p>	<p>行の中心</p> <p>文字の大きさ</p> <p>字間・行間</p>	<p>姿勢・持ち方</p> <p>筆記具・用紙</p> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文字とっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コラム ◆ 書き初めをしよう ◆ 書いて味わおう ほか </div>
中学校	<p>1年 点画の書き方と字形の整え方 (p.14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本の点画の書き方 字形と配列を整える書き方 		<p>1年 平仮名の書き方と字形 (p.18)</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字や片仮名よりも丸みをつけて書く。 点画のつながりを意識して、滑らかに書く。 外形を意識して書く。 	<p>1年 点画の書き方と字形の整え方 (p.14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 字形と配列を整える書き方 <p>1年 文字の大きさと配列 (p.20)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行の中心に文字の中心をそろえる。 仮名は、やや小さめに書く。 字間と行間はそれぞれそろえ、行間は字間よりも広く取る。 用紙の上下・左右に適度な余白を取る。 用紙に合った適切な文字の大きさを考える。 	<p>2年 楷書と行書の使い分け (p.63)</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書には、それぞれ次のような特徴がある。 楷書… 誰にでも正確に伝わる文字が書ける。 行書… 速く滑らかに読みやすい文字が書ける。 書体は、場面や目的に応じて、次のような観点で使い分ける。 読む相手 ・読みやすさ ・書式 ・書く速さ 書く文字の量 ・受ける印象の違い など <p>3年 身の回りの文字の目的と工夫 (p.73)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの文字には、使われる目的があり、目的に応じた工夫がされている。 手書き文字と活字を使い分けたり、書体、色、配列、筆記具などを工夫したりして、効果的に伝えている。
	<p>1年 点画の連続 (p.28)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書では、速く滑らかな動きで書くために、点画が連続することがある。 <p>① 筆脈の実線化 筆脈が実線になって連続する。</p> <p>② 直接連続 点画の終筆と次の点画の始筆がつながる。</p>	<p>1年 筆脈 (p.26)</p> <ul style="list-style-type: none"> 点画と点画のつながりを「筆脈」という。行書で書くときは筆脈を意識しよう。 	<p>2年 行書と仮名の調和 (p.50)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書に平仮名を交えて書くときは、行書に調和するように、平仮名も筆圧の変化や筆脈に気をつけて、つながりを意識して書く。 	<p>2年 文字の大きさと配列 (p.54)</p> <ul style="list-style-type: none"> 楷書と同じように、次のような点に気をつける。 行の中心に文字の中心をそろえる。 画数の少ない漢字や仮名は、やや小さめに書く。 字間と行間はそれぞれそろえ、行間は字間よりも広く取る。 用紙の上下・左右に適度な余白を取る。 用紙に合った適切な文字の大きさを考える。 	<p>3年 手書き文字の特徴 (p.76)</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しみを感じやすい。 書き手の気持ちや意図が伝わりやすい。 筆記具と用材があれば、その場で書くことができる。 文字の大きさや配列を変えたり、記号や図表を添えたりするなど、分かりやすく伝える工夫がしやすい。 <p>3年 現代につながる文字の役割 (p.79)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字は昔も現代も役割を持って使われており、私たちの暮らしに欠かせないものである。
<p>1年 点画の変化 (p.30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書では、速く滑らかな動きで書くために、点画の方向や形が変化することがある。 	<p>2年 筆順の変化 (p.48)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書では、速く滑らかな動きで書くために、筆順が変化することがある。 	<p>2年 行書に調和する仮名 (p.52)</p> <ul style="list-style-type: none"> 点や線が連続することがある。 始筆・終筆の方向が変化することがある。 終筆の筆使いが変化することがある。 点や線の一部が省略されることがある。 		<p>3年 効果的な書き方の工夫 (p.81)</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートなどを効果的に取るためには、次の三つの観点がある。 ① 情報のまとまり… 情報のまとまりが、ひと目で分かるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 見出しを目立たせる。(大きさ・太さ・記号の使用など) 大きなまとまりは、行を空けたりページを替えたりして、分ける。 小さなまとまりは、行頭位置をそろえたり箇条書きにしたりする。 図表は、内容との関係が分かる位置に配置する。 ② 重要な部分… 重要な部分を目立たせる。 <ul style="list-style-type: none"> 下線を引く、囲む、色ペンで印をつけるなどする。 ③ ブロック分け… あとから書き足すための余白を、あらかじめ確保しておく。 <ul style="list-style-type: none"> 行を空ける、ノートに線を引くなどする。 <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>文字とっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コラム 手書き文字と活字 文字の移り変わり いろは歌 伝統的な用具・用材 筆記具の使い分け 書の古典——今に生きる書 ◆ 書き初めをしよう (1～3年) ◆ 書いて味わおう (1～3年) </div>	

検討の観点と内容の特色

SDGsとの関連

国連が定めた持続可能な開発目標 (SDGs) に関連するものには、目標の数字を示しています。

3 4 5 7 9 11 15 16

1 教育基本法・学校教育法との関連

■ 教育基本法に示された教育目標を達成するための配慮がなされているか。

教育基本法との対応	<p>(▷は、教科書における具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 書写の学習を通して、幅広い知識と教養を身につけ、自らの文字を正しく整えて書く力とともに、国語や他教科、日常生活で生かそうとする態度を養えるよう配慮している。 ▷全学年・全単元 ● 自らの文字を整える課題解決の過程で、「学びに向かう力」や「思考力・判断力・表現力」及び、自主・自律の精神を養えるよう編集している。 ▷全学年・全単元 ● 書写の学習を通して、日本語で文字を書くことや言語に関わる文化に触れ、我が国の伝統と文化を尊重し継承しようとする態度を養えるよう配慮している。 ▷「文字とっしょに」1年p.42、p.43 / 2年p.58 / 「生活に広げよう」1年p.36、3年p.83 など
-----------	---

2 教育課程および学習指導要領への対応

■ 教育課程編成の方針を踏まえているか。

1. 学習指導要領に示された内容に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領の書写の指導事項を効果的に学習できるよう、単元数・学習事項を精選し、生徒の発達段階に応じて主体的にねらいを達成できるよう、系統的に単元を配列している。 ● 言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する「知識・技能」の習得、正しく整えて書くための「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現するよう編集している。
2. 学習指導要領の方向性に対応するため、どのような工夫、配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字を整えて書くための汎用的なポイントを「書写のかぎ」として位置づけ、各単元に1事項ずつ焦点化して配置し、学習の基礎・基本、書写の原理・原則を負担なく確実に習得できるよう工夫している。 ● 基本単元では、「1.見つけよう」「2.確かめよう」「3.生かそう」の3つのステップで構成されており、学習過程を統一することで、生徒が主体的に学びに取り組めるよう工夫している。 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>● 行書では、速く滑らかな動きを書くために、筆順が変化することがある。 くさかんり</p> <p>● 点画の変化や筆路が現れることもある。 いへん</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 見つけよう…ふだん書いている硬筆文字から、課題を発見する。 →「書写のかぎ」への気づき 確かめよう…より特徴を実感できる毛筆で、「書写のかぎ」を確かめる。 生かそう…「書写のかぎ」の汎用性を知り、ほかの文字に生かす。 ▷1年p.14、p.28、2年p.48 など <p style="text-align: right;">本書8ページ</p>
① 基礎・基本の確かな習得	<ul style="list-style-type: none"> ● 成長期の生徒が負担なく運筆できる正しい姿勢を身につけられるように、書くときの姿勢や筆記具の持ち方を丁寧に解説している。 ▷1年p.8、3年p.98-99 ● 「行書のまとめ」や「書写テストに挑戦!」を設け、学習したことを振り返り、身につけた知識・技能の定着と学力の向上を図ることができるよう工夫している。 ▷「行書のまとめ」1年p.32、2年p.56 / 「書写テストに挑戦!」1年p.44、2年p.70、3年p.88 <p style="text-align: right;">本書14・15ページ</p>
② 「主体的・対話的で深い学び」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭の「文字を『書く』って、なんだろう」では、生徒にとって身近な「書く」場面を想起させ、手で文字を書くことの価値や意義について考えさせる。生徒が生活体験をもとに書くことを振り返り、自分の文字をよりよくしていこうとする主体的な態度を育めるよう工夫している。 ▷表紙裏・1年p.1 ● 基本単元には、目標と振り返りを設定し、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身につけたのかを振り返られるようにしている。(見通しと振り返り) ▷1年p.28、2年p.48、3年p.80 など

③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のための工夫

● 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に役立つように、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させるための工夫をさまざまに取り入れている。

● 教科書紙面上の二次元コードからアクセスするデジタルコンテンツ(以下、QRコンテンツ)を多数用意している。授業や家庭学習などの場面で活用することができ、生徒が自ら判断してコンテンツを利用することで、**個別最適な学び**を実現する。
例：用具の置き方、筆のかたづけ方、基本の点画の書き方、教材文字の運筆動画 など
▷1年p.8、p.10、p.15、2年p.49



本書12・23ページ

● 「生活に広げよう」では、学んだことを生活の中で活用するために、具体的な場面を想定して話し合う活動を設定している。学習を通して、思考力・判断力・表現力を高め、**深い学び**を実現できるよう配慮している。
(3学年で6単元)
▷「生活に広げよう」1年p.22、p.36、p.39、2年p.60、p.65、3年p.83

本書16ページ

3. 書写の学習を生活に役立てるため、どのように工夫されているか。

● 「生活に広げよう」では、書写の学習で身につけた知識・技能を生活の場でどのように活用できるかを考える。生徒に身近な題材の例を豊富に示して、意識づけられるようにしている。(3学年で6単元)
▷1年：お礼状、年賀状、職場訪問の手紙やポスター (1年p.22、p.36、p.39)
2年：本のポップ、防災訓練の話し合いメモやパンフレット (2年p.60、p.65)
3年：卒業に向けた作品 (3年p.83)

本書16ページ

● 巻末資料「書写活用ブック」では、さまざまな書式の具体例を挙げて特徴や書き方を解説し、日常生活の中で生徒が目的に応じて活用できるよう工夫している。また、**硬筆字典**として、五十音表、常用漢字表、人名用漢字表の楷書と行書の文字を掲載し、生徒が自分の名前を書くことに主体的に取り組めるよう配慮している。
▷さまざまな書式 図p.1-14、図p.40 / 硬筆字典(常用漢字表・人名用漢字表) 図p.15-35

本書16ページ

● 日常生活と関わり深い**横書き**の書き方を、各学年で取り上げている。
▷1年p.39-41、2年p.60、2年p.62、3年p.80、図p.8-9、p.11、p.12-13

4. 文字文化についての理解を深めるため、どのように工夫されているか。

● 「文字とっしょに」では、手書き文字と活字、筆・墨・硯・和紙などの用具・用材、いろは歌など文字文化に関するコラムを設けたり、「書いて味わおう」として国語教科書掲載作品の一節をなぞり書きするページを設けたりして、文字文化への関心を高め、継承・発展させる態度を養うよう工夫している。
▷「文字とっしょに」コラム 1年p.16、p.34、p.42、2年p.58、p.68、3年p.101
「書いて味わおう」1年p.43、2年p.69、3年p.87

本書18ページ

● **書き初め**の単元を各学年に設けて、生活に根付く伝統的な文字文化について理解を深められるよう工夫している。
▷「書き初めをしよう」1年p.38・89、2年p.64・96、3年p.82・97

3 教科書の構成上の配慮と工夫

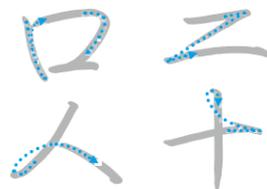
1 指導計画作成のために、どのような配慮をしているか。

1. 教材の分量、配分は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> ● 配当数内に、各学年で求められる資質・能力を着実に身につけられるよう、単元・教材を精選し、適切な単元数、分量で、硬筆と毛筆の学習ができるようにしている。 ● 配当数数の少ない3年においては、短時間で指導できるよう単元の内容をより精選し、実態に合わせた指導ができるよう配慮している。
① 分量・配分(教材の系統性)	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則として1単元1事項で構成し、学習のポイントを「書写のかぎ」として明確化することで、限られた時間内で効果的・効率的に力をつけられるよう配慮している。また、「書写のかぎ」を3学年を通して段階的・系統的に配列し、螺旋的・反復的に学習を積み重ねられるよう工夫している。 <p style="text-align: right;">本書8・25ページ</p>
② 毛筆と硬筆の配分	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本単元は、硬筆で課題を発見し、それを解決する「書写のかぎ」を見つける→毛筆で書いて確認する→硬筆でほかの文字に生かすという展開で、硬筆と毛筆の密接な関連を図っている。 ▷1年p.28、2年p.48 など ● また、毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し、適切な順で単元を配列したり、学年内に、適宜硬筆のまとめのページを置くことで、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。 ▷1年p.32、2年p.56

2. 教材の選定や教材化に当たり、どのように工夫されているか。

- 教材文字は、硬筆文字・毛筆文字ともに**学びやすさを考慮した**簡明な書き方で、書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆している。教材として指導事項を捉えやすい字形で、かつ、内容価値のある語彙を選んでいる。
▷1年p.15、2年p.64、3年p.97 など
- 行書の字形において、基礎的・基本的な学習であることを踏まえて、文字の中の共通する部分は書き方の統一を図るなどの配慮をしている。
▷1年p.32、2年p.56
- 毛筆の学習においては、穂先の位置が分かりやすいよう淡墨の文字写真を用いたり、筆脈や、既習の文字の動きを生かす部分を図示したりするなどして、内容理解の助けとなるよう工夫している。
▷1年p.10-11、p.24-25、p.30 など

● 行書の指導において、行書で多く用いられる4つの動きに着目させ、形だけでなく、動きを手がかりに習得できるよう工夫している。
▷1年p.26-27、p.30



本書10ページ

3. 現代の学校教育環境への対応が図られているか。

- GIGAスクール構想による一人一台端末の活用、デジタルコンテンツを活用した指導を支える周辺教材を多数用意している。
- 教科書教材と連動したQRコンテンツを用意し、対面授業やオンライン授業だけでなく、家庭における自学自習にも活用できるようになっている。
本書12-23ページ

4. 授業支援と教員の負担軽減への取り組みが図られているか。

- 何を学ぶのか(「書写のかぎ」)、どのように学ぶのか(「1.見つけよう」「2.確かめよう」「3.生かそう」)の3ステップの学習過程を明確にし、指導計画が立てやすく、無理なく指導できるよう工夫している。
▷1年p.14、p.28、2年p.48 など
本書8ページ
- QRコンテンツに毛筆教材文字の運筆動画を用意しており、教師が斉指導の際に演示したり、生徒がタブレットで個別学習したりするなど、**授業の効率化**に役立つよう工夫している。また、実技指導の**経験の少ない教師の補助**としても効果的である。
例：用具の置き方、筆のかたづけ方、基本の点画の書き方、教材文字の運筆動画(書き初め含む)
▷1年p.8、p.10、p.15、p.38、2年p.49 など
本書12-23ページ

5. 国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連が図られているか。

① 国語科との関連

- お礼状、レポート、本のポップなど**国語科の言語活動と関連する題材**を積極的に取り上げたり、「書いて味わおう」で**国語教科書に掲載される作品の一節**を書くページを設けたりしている。適宜関連づけて指導したり、合科的に扱ったりできるよう配慮している。
▷1年p.22、p.39、2年p.60、p.2-11、p.40-41 など / 「書いて味わおう」1年p.43 など
- また、二次元コードがある教材では、関連する国語教科書(「新編 新しい国語」)の内容を参照することができる。
▷1年p.22、2年p.60 など
本書19ページ
- 年賀状や書き初めなど現在も続く日本の伝統的な慣習を体験したり、「いろは歌」に関するコラムを読んだりするなど、**伝統的な言語文化**に親しむ機会を設けている。
▷年賀状：1年p.36 / 書き初め：1年p.38・p.89、2年p.64・96、3年p.82・97 / いろは歌：1年p.42

② 道徳との関連

- 道徳教育との関連として、**豊かな情操と道徳心を養う**ような語句や文章を教材文字として選定している。
▷1年p.15「大志」、p.89「夢の実現」、2年p.51「豊かな自然」、p.64「平和の祈り」、p.96「感謝する心」…… 15 16
- 対話的な話し合いを学習活動に取り入れ、**互いを尊重し理解を深める態度**を養うよう工夫している。
▷「生活に広げよう」1年p.22、p.36、p.39、2年p.60、p.65、3年p.83

6. カリキュラム・マネジメントへの取り組みが図られているか。

- 国語科や他教科・特別活動で扱われる言語活動や題材を積極的に取り上げており、**合科的・関連的な指導**を行うことができる。なお、他教科の学習と関連している単元・教材には、(教科関連マーク)をつけて意識づけを図っている。
▷「職場訪問しよう」1年p.39 / 「地域の活動に参加しよう」2年p.65 / 「自分のノートを見直す」3年p.80 / 「ノートの取り方・レポートの書き方」p.40 など

7. 小学校の学習内容との関連が図られているか。

- 小学校6年生から中学校1年生への移行がスムーズに行えるよう、1年生の冒頭に、小学書写の学習内容を振り返り確認するページを設け、中学校での学習の基盤作りができる内容になっている。
▷「はじめに」1年p.6-13
本書14ページ
- 「書写のかぎ」を柱とした学習過程は、東京書籍小学書写でも採用しており、**小中9年間の系統性**を立て、円滑な接続を図っている。また、中学校教科書と小学校教科書とで同じ図版を用い、既習事項を反復しながら新しい学習内容を無理なく積み重ねていけるよう配慮している。
▷「これまで学んできたこと」1年p.6-7、「伝統的な用具・用材」2年p.58-59、キャラクター「コウゾ」
本書25ページ

8. 高校の学習内容との関連が図られているか。

- 3年には、高校への橋渡しになるよう、書道の芸術性につながる文字の表現効果や高校書道の内容を紹介するコラムを設け、興味・関心を高める工夫をしている。
▷「書の古典」3年p.101

2 今日的な課題に対してどのように取り組んでいるか。

1. 現代的な教育課題に対し、どのような取り組みをしているか。

- 言語活動の題材や教材文字は、**我が国の伝統や文化への理解を深めるものや、SDGs(持続可能な開発目標)**につながるさまざまな社会の課題を意識して設定している。教科横断的に扱い、関連づけて指導することができるよう工夫している。(□の数字は、SDGsの目標との対応を表す。)
- 【 伝統文化 】「文字といっしょに」コラム、「書き初めをしよう」 など
- 【 防災・安全 】「地域の活動に参加しよう——防災訓練」2年p.65… 11
- 【 環境 】「豊かな自然」2年p.51、「資源の未来新聞」p.10… 15 7
- 【 国際理解 】手紙(外国人観光客への環境作り)1年p.23、「書の古典」3年p.101
- 【 情報活用 】「インターネット安心・安全ブック」p.11… 9
- 【 人権・福祉 】ユニバーサルデザイン書体 1年p.17、「山口市広まるバリアフリー」p.8… 3
- 【 キャリア教育 】「職場訪問をしよう」1年p.39

3 全ての生徒が使いやすい紙面を実現するために、どのような配慮を行っているか。

1. 表現や体裁などにおいて、特別支援教育やユニバーサルデザインの配慮がされているか。

- **特別支援教育の観点**から、全ページにわたり、内容とデザインについて専門家による検証・校閲を行っている。また、紙面上の色の数や文字量を抑制することで、生徒の集中を妨げないよう配慮している。
- 色覚の多様性に配慮し、**カラーユニバーサルデザイン**の観点から、配色およびデザインについて検証を行っている。
- 右利きでも左利きでも教材文字が見やすいように、原則として教材文字の上に、書き込み欄を下に配置するなど工夫している。
▷1年p.14、p.32、2年p.56 など
- 情報を整理して、だいたいのことがひと目で分かる紙面になるよう工夫している。紙面内の学習要素の位置を原則として固定化することで、学習過程を統一し、スムーズに学習に取り組めるよう工夫している。
- 小学校で学習していない漢字を使用する場合は、単元ごとの初出箇所全て読み仮名を付けている。
- 文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現をしている。文意を捉えやすいように、原則として文節で改行している。また、表記や用語は統一した基準を設けている。
- キャラクターの吹き出しや本文漢字の読み仮名等には、小さい文字でも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用している。… 4



UD FONT

本書20ページ

- 弱視の生徒のために、教科書と同じ内容の拡大教科書の発行を予定している。
- 教師用指導書に、全ての漢字に読み仮名を振り、語のまとまりが分かるように空きを入れた**総ルビ・分かち書き教科書紙面**のPDFを用意している。また、学習者用デジタル教科書においても、読み仮名を振ったり、分かち書きで表示したりする機能を搭載している。

2. 人権上の配慮がなされているか。

- 人物の写真やイラスト、教科書に掲載する作品の氏名において、男女の比率や役割に偏りが無いよう配慮している。また、固定的なイメージで性の区別をしないよう、男女の服装に配慮している。… 5

3. 印刷・造本は生徒の使用に適し、環境に配慮したものであるか。

- 本文書体は、手書き文字の字形に近づけた、特別な明朝体を使用している。
- B5変型判の紙面は、1ページの縦横比が**半紙と同比率**であり、128%拡大で半紙と同サイズになるよう工夫されている。半紙と文字のバランス、余白などを意識して書くことができる。
- 印刷は鮮明で正確である。硬筆文字や毛筆文字は、濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっている。
- 用紙は、鉛筆で書きやすく、十分な強度を持ちながら軽量なものを使用している。
- 製本は中綴じで開きやすく、書き込みがしやすいようになっている。中綴じの針金の先が、指や衣服などに引っかかってけがをすることがないように**安全面に配慮**している。表紙は耐久性を高める加工をしている。
- 環境に配慮し、**再生紙や植物油インキ**を使用している。
- 印刷業会団体が定めた環境配慮基準を満たす「**グリーンプリンティング認定工場**」で印刷している。



授業に役立つ充実のサポート

教師用指導書

「新編 新しい書写」の教師用指導書には、次の①～⑥の内容が含まれています。

(一～三年合冊)

- ① 研究編
(指導案・書写指導に役立つ解説資料)
- ② 指導編(朱書)
- ③ 硬筆ワークシート編
- ④ 毛筆原寸大資料編
(毛筆教材文字の原寸大見本・練習用紙等)

⑤ 指導書コンテンツライブラリー

※弊社専用ウェブサイトよりダウンロード、動画はストリーミング

指導を支えるさまざまなデータに直結しています。

動画

QRコンテンツの内容に加えて、筆・墨・硯・和紙を作る職人へのインタビュー動画、「左利きの子供への指導のポイント」などの指導資料動画を収載しています。



毛筆練習用紙作成ツール

教材文字の原寸大見本やオリジナルの練習用紙を作成することができます。



穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示

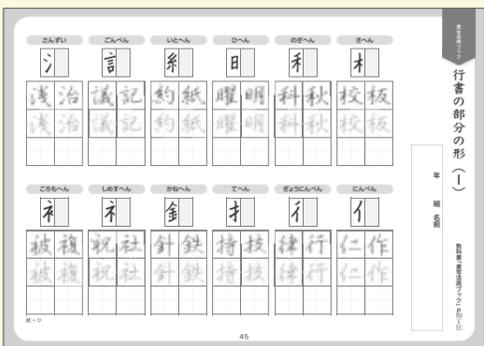
穂先の通り道	表示	全非表示
骨書き	非表示	
筆の形	非表示	全表示



指導編(朱書)



硬筆ワークシート編



硬筆ワークシート PDF



総ルビ・分かち書き 教科書PDF



指導資料



学習者用デジタル教科書

紙の教科書と同一の内容です。QRコンテンツがボタン一つで再生できます。文字の拡大や文字色の反転、リフロー機能で特別支援にも対応しています。

令和7年度版紙面



1年 p.28-29

拡大教科書

弱視の児童のために、活字を大きくして、分かりやすく内容を再構成した教科書です。

⑥ 指導者用デジタルブック

※クラウド配信

電子黒板やプロジェクターなどを使用して、教科書を拡大投影することができます。また、教科書と関連するコンテンツを提示することができます。

MY教科書エディタ

教科書の素材を使ってオリジナルの教材や板書を作成できます。

NEW



2年 p.48-49



紙面上にあるボタンや、二次元コードをクリックすると、コンテンツを表示できます。

※紙面は主に令和3年度版教師用指導書のもです。※これらの商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。